

考える、語り合う No.23

一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 まず考える、つぎに語り合う

令和3年12月14日
長崎市立川原小学校
学校だより
校長 寺田 成広

最高の思い出づくりができた修学旅行

12月9～10日に、6年生にとっての大きな行事、修学旅行を実施しました。年度始めの計画では9月上旬実施としていましたが、コロナ感染拡大をうけて延期していました。宿泊先の確保が難しく、3学期実施もやむなしの状況でしたが、旅行会社と江川・中村両担任の働きかけで先月上旬に宿泊先が見つかり、急ピッチの諸申請文書の作成によりに実施ができました。子どもたちの心と物の準備が心配でしたが、保護者の皆様の協力もあって駆け足ながらも万端整うことができました。事前指導の学級活動に参加させていただきましたが、旅行のテーマ「HOME～小学校生活最高の思い出を」を達成しようとする6年生の子どもたちの意識の高さを感じました。

実際行程の2日間では、話を聞くとときはしっかり聞く、仲間と活動するときはみんなで楽しむ、分担したあいさつやお礼を言葉できちんと伝える、時計を見て動く等々、自分たちで判断して場に応じた態度をとることができました。すばらしい姿に、私たち引率者は嬉しさを感じました。



<行程>学校 → 無窮洞 → 山きらら → 海きらら → 九十九島遊覧 → 弓張の丘ホテル泊
ホテル → ハウステンボス(班活動) → 学校

今後は、この修学旅行の準備から、経験、振り返りまでをしっかり行った6年生がいつそう輝きを増し、さらに力強いリーダーシップを発揮してくれることと期待しています。

【無窮洞について】

初めて訪れました。戦時中に旧宮村国民学校の子どもたちが、自分たちの力で掘った防空壕です。600人が避難できるほどの広さがあり、壁面にはつるはし等の工具の跡が残っていました。当時の戦況や、命を守るために必死に作業した子どもたちの思いを感じられる場所です。足を運ばれてはいかがでしょうか。<旅行の様子はHPに掲載中:2学期|長崎市立川原小学校 (nagasaki-city.ed.jp)>



ドローンを学ぶ、ドローンで学ぶ

12月8日に、長崎県立鶴洋高校の先生と生徒さんが来校し、5・6年生にドローンを使った授業を行っていただきました。現在鶴洋高校では、ドローンについて学ぶ授業が実施されているそうで、その学びの一端を小学生に伝えてくれました。ドローンの現在と将来の活用方法や、操作の仕方、そして与えられた課題のようにドローンを飛ばすためにプログラミングをする内容でした。

子どもたちの興味関心はとて高く、高校生の皆さんの適切なサポートを受けながら、ドローンを知り、操作を覚え、いかにして正確にドローンを動かすかを熱心に考えていました。また、異なる校種の先輩たちと交流する体験も貴重だったと思います。<HPのURL https://onl.tw/upw54pW>

